

「学生による授業評価と今後のビジョン」

第7回CAUA合同研究分科会講演

資料

東京大学大学院総合文化研究科

教授

山本 泰

アンケート実施配布資料

授業評価アンケートの実施について

教養学部では、1年・2年生を対象とする東京大学前期課程の全授業を対象に、「学生による授業評価アンケート」を行っています。対象となるのは、専任、非常勤を問わず、開講されているすべての基礎科目・総合科目・主題科目の授業です。

以下の趣旨をおくみとりいただき、各学期末の約2週間に設けられる実施期間中の授業時間のいずれかで各教室で実施していただきますようお願いいたします。

アンケート実施の趣旨

- 授業担当者は、授業改善のための努力を払う義務を負うと同時に、授業改善の方策のひとつとしてアンケートを利用する権利を持っています。
- このアンケートは、授業改善を目的として行われます。
- アンケートの結果は出来るだけ速やかに集計し、授業担当者に報告するとともに、科目ごとの平均などの概要を公表します。細部については、部会単位でデータを解析することになります。
- アンケートは、授業担当者の教育スキル向上と教育内容の充実に資する目的で使われるものであり、担当者の個性や特徴を減退させたり、機械的な均一化を助長するものであってはなりません。
- アンケートは、授業改善のための学部や部会の取り組み（ファカルティ・ディベロップメントなど）と連動すべきです。
- アンケートは、評価する立場の学生に責任ある態度を誘起する仕方で行われるのが望ましいと考えられます。
- アンケートの内容及び実施方法は、改善を続け、毎年よいものにしていく必要があります。
- 調査データは、教養学部前期運営委員会の「学生による授業評価ワーキンググループ」が管理します。

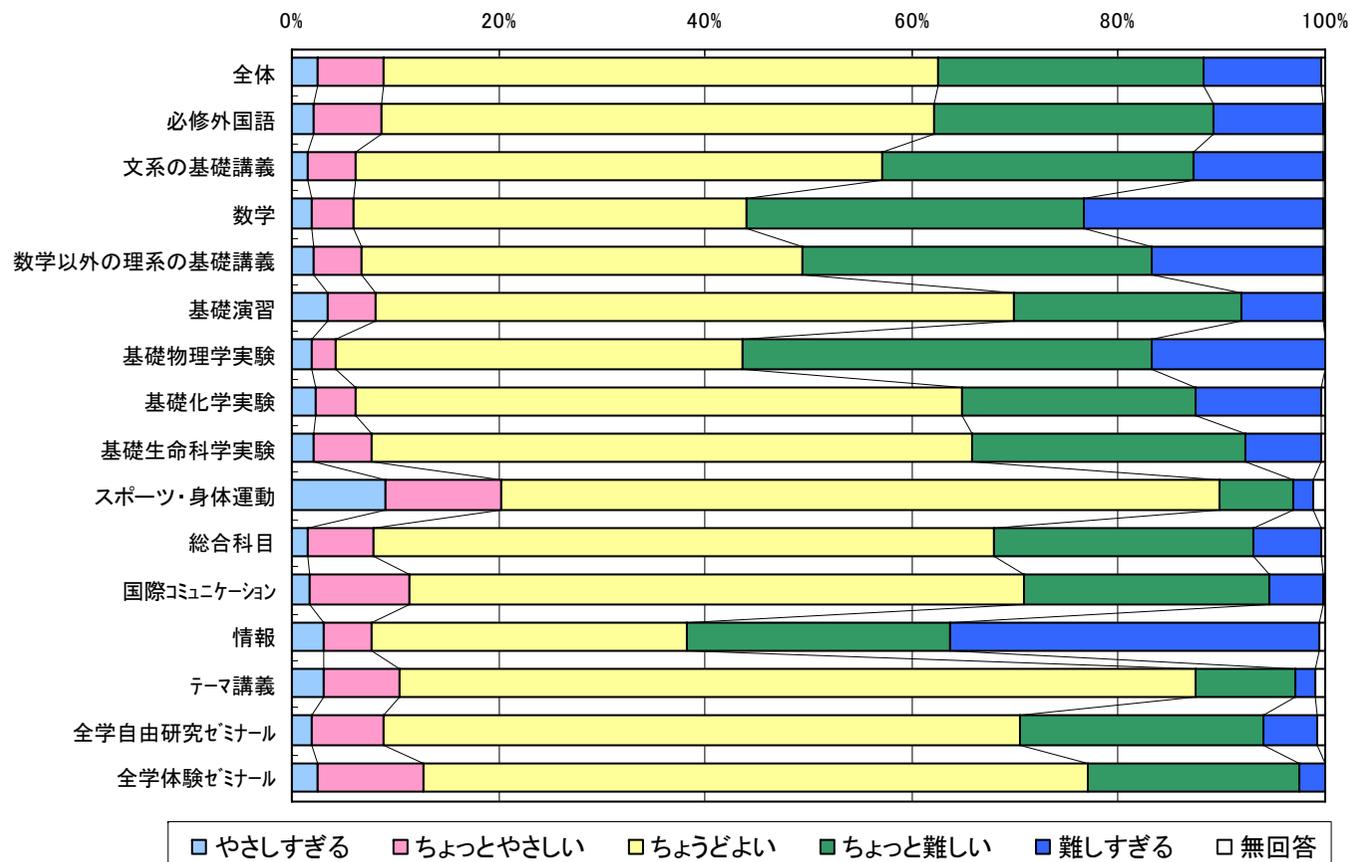
質問票、回答票は授業ごとに袋詰めしたものを実施期間前に各々の先生方にお渡しします。

詳しい実施方法については、その時に配布する「実施要領」をご覧ください。

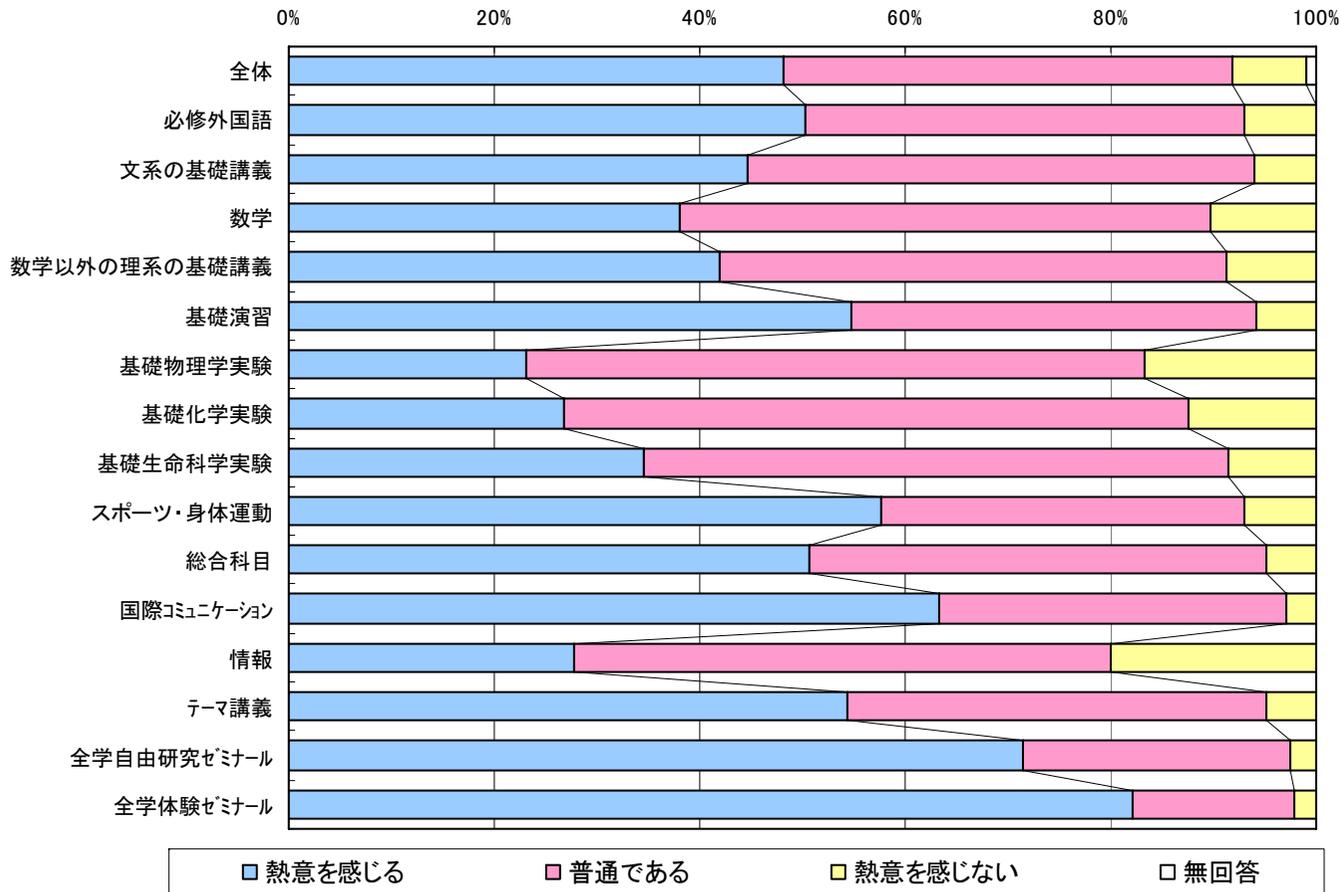
授業の種別によって7種類の質問票を用いて調査が行われ、実施時に教室にいる全学生がマークシート式の回答票に回答を記入する方式で行われます。最も代表的な01の質問票と回答票は次ページ以下の通りです。

アンケート集計結果

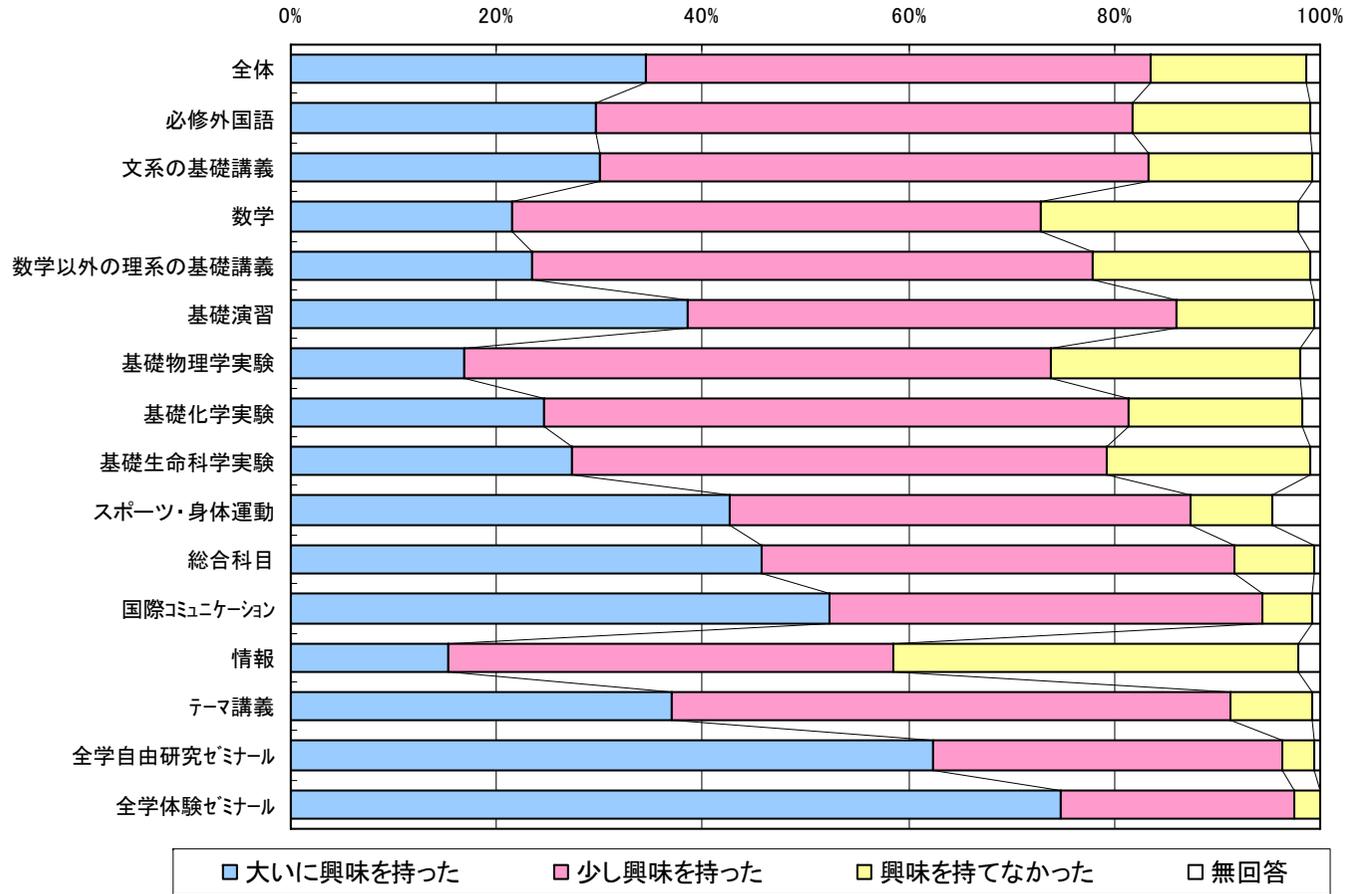
授業の難易度



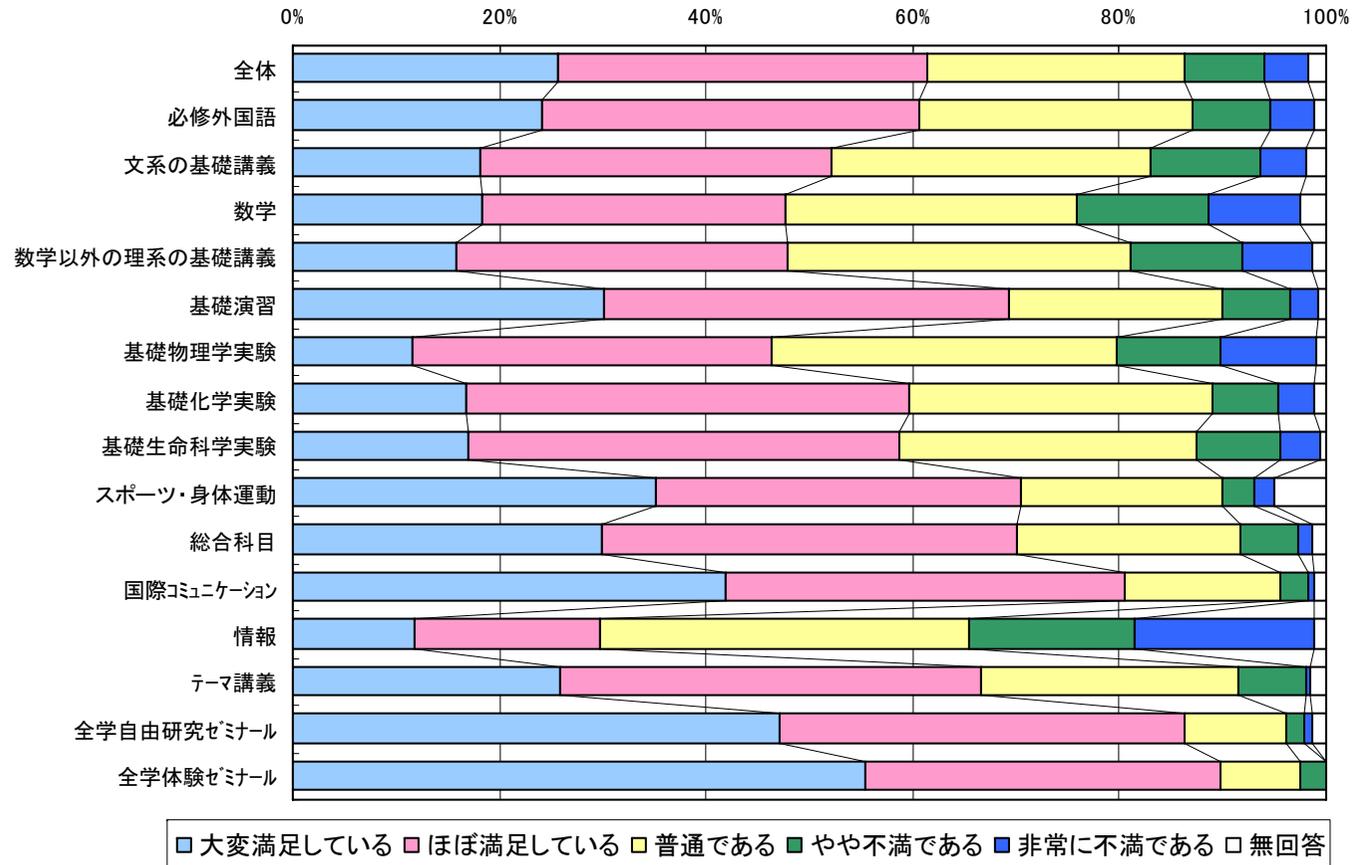
授業に対する先生の熱意



授業内容に対する興味



総合評価



授業への満足度の変化

